

# 持続可能な財政運営プラン（素案）

令和6年11月  
広島県府中市

## 目次

はじめに	1
1 府中市の財政状況	
（1）主な歳出額の推移（一般財源）	2
（2）歳入額の推移（自主財源）	3
（3）財政調整基金の推移	3
（4）今後の見通し	4
2 持続可能な財政運営プランの基本方針と目標	
（1）基本方針	5
（2）計画期間	5
（3）目標	5
3 持続可能な財政構造の転換に向けた対策	
（1）歳出の削減	6
（2）歳入の確保	6
（3）総括	7
4 本プランの進め方	
（1）基本的な姿勢	9
（2）継続的な事業見直し	9
（3）市民・市議会との共有	9
（4）プランのフォローアップ	9

## はじめに

本市においては、まちづくりの最上位計画である総合計画において、『しあわせ実感!“力強さ”と“やさしさ”のある未来を創造するまち 府中市』をまちの将来像に掲げ、府中市版ネウボラの推進による、妊娠期から子育て期を通じた母子保健および子育て支援の一元的できめ細かいサポートの提供、i-core FUCHU の整備による若者や女性、子育て世代を中心とした幅広い世代間での交流による人が人を呼ぶ場と新たな賑わいの創出、人工芝生グラウンドの整備や府中市まちなかマラソン大会の開催によるスポーツを活用した賑わいと健康づくりの推進など、魅力あるまちづくりのためにこれまで様々な施策を展開してきたところです。

令和6年度においては子育て支援施策拡充をはじめとする人口減対策、府中駅南エリアを中心とした賑わい創出、事業活動の持続的発展のために新たな取引先の開拓に取り組む企業の支援などによる産業活性化を3つの柱として、引き続きまちの将来像の実現に向けて重点的な取り組みを行っているところであります。

一方では、市税などの適正な徴収、ふるさと納税やクラウドファンディングなど積極的な歳入確保、将来世代に過度な負担を残さないための歳出抑制（事業見直し）の取り組みによる財源確保努力もあわせて行い、財政面の規律や持続性にも十分留意してきました。

こうした中、昨今の想定を超える急激な物価高騰や人件費の上昇などが本市の財政状況に悪影響を及ぼしており、現状のままの財政運営を継続した場合には、令和8年度には財政調整基金が枯渇するという極めて厳しい財政状況となっています。

今後の見通しとして、人口減少・少子高齢社会の進展が見込まれる中、市税収入をはじめとする歳入一般財源については大幅な増加が見込めず、厳しい状況が続くものと予測しており、また歳出についても、公債費や扶助費といった義務的経費、あるいは公共施設の維持管理コストなどの物件費、他団体の経営状況などに起因する繰出金や補助費などその他経費の増大が避けられない状況からも、本市の財政硬直化が進行すると予測され、今後の施策展開に支障をきたす恐れが生じています。

これらを踏まえ、全てをゼロベースで検証する事業見直しを今年度進めてきたところですが、その見直し結果をベースとした今後の具体的目標や取組項目を示した『持続可能な財政運営プラン（素案）』を策定（※）し、今後の財政運営の指針として活用することにより、本市の持続可能な財政構造への転換、ひいては本市の持続的なまちの発展に向けた取組を行っていきます。

※確定版は令和7年2月に公表予定

## 1 府中市の財政状況

### (1) 主な歳出額の推移（一般財源）

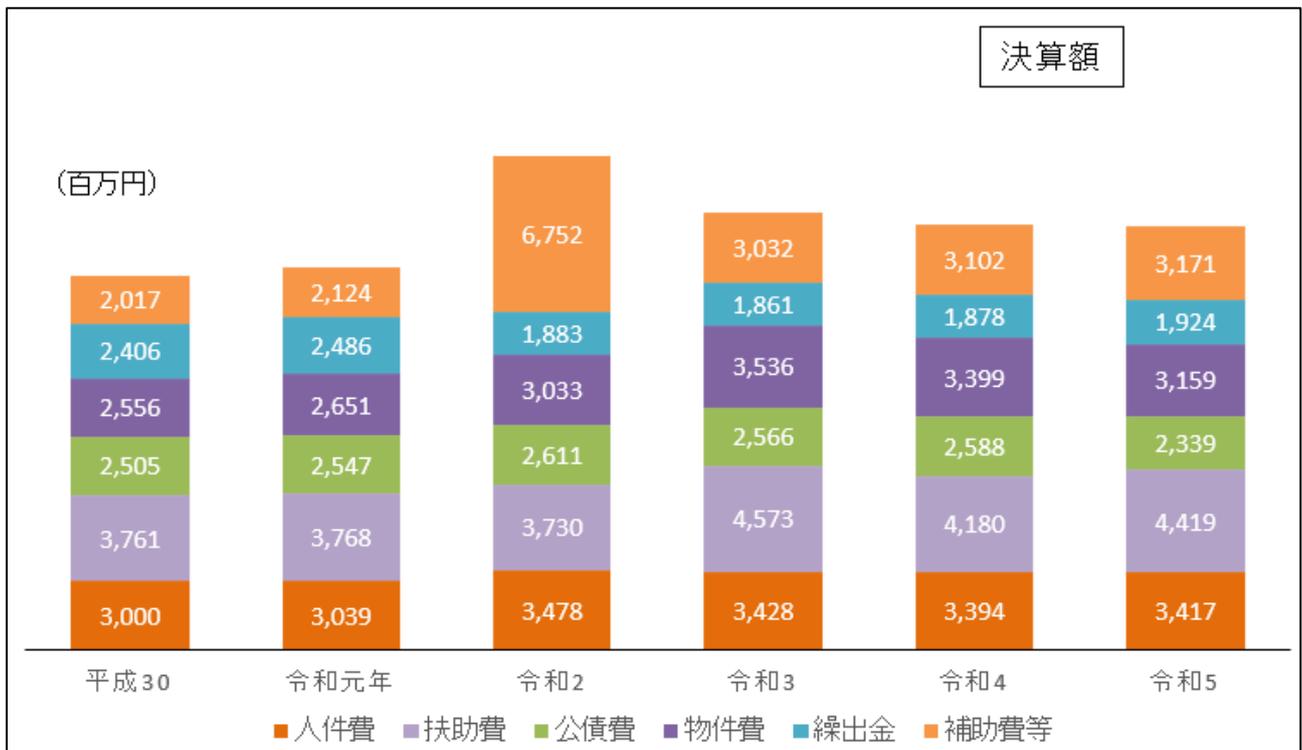
頻発する災害への対応、あるいは重点事業への積極投資などにより、平成30年度以降、その財源として貯金（財政調整基金）を取り崩す財政運営が続いています。

内訳を見ると、義務的経費は職員の人件費、子育て・高齢者・障害者支援などにかかる扶助費、大型投資事業の実施による公債費が増加傾向にあります。

また、公共施設の維持管理コストなどの物件費、他団体の経営状況などに起因する繰出金や補助費などのその他経費も増加傾向が続いています。

このため、一方では歳入確保と事業見直しによる歳出削減の取組みを進め、財政調整基金に頼らない、現実的な歳入規模に見合った予算編成を目指してきました。

しかし、直近の令和6年度においては当初予算時点で対前年度比3.7億円（一般財源ベース）という一定の効果を得たものの、物価高騰や人件費の上昇などにより、全体として歳出が歳入を上回り、結果的に財政調整基金の取崩しが生じています。

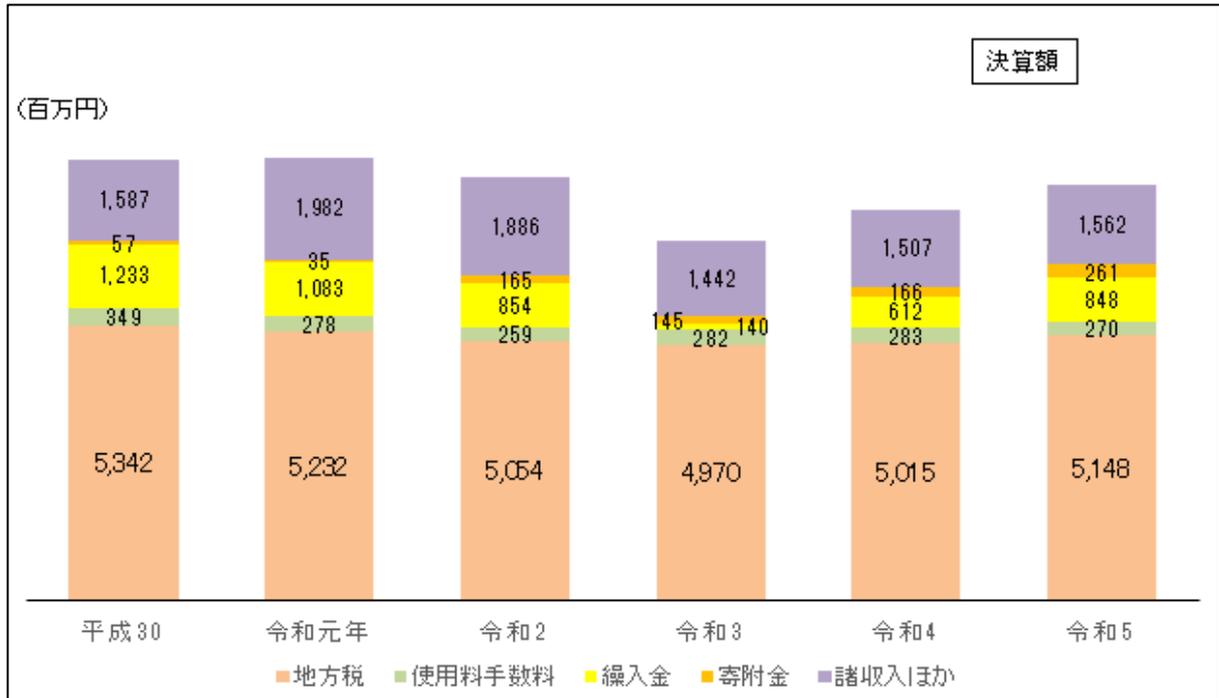


## (2) 歳入額の推移（自主財源）

地方税は、これまで大幅な変動はありませんでしたが、人口減少に伴う納税義務者の減少により今後は下落傾向になると予測しており、引き続き徴収率・収納率向上に向けた取組みを徹底する必要があります。

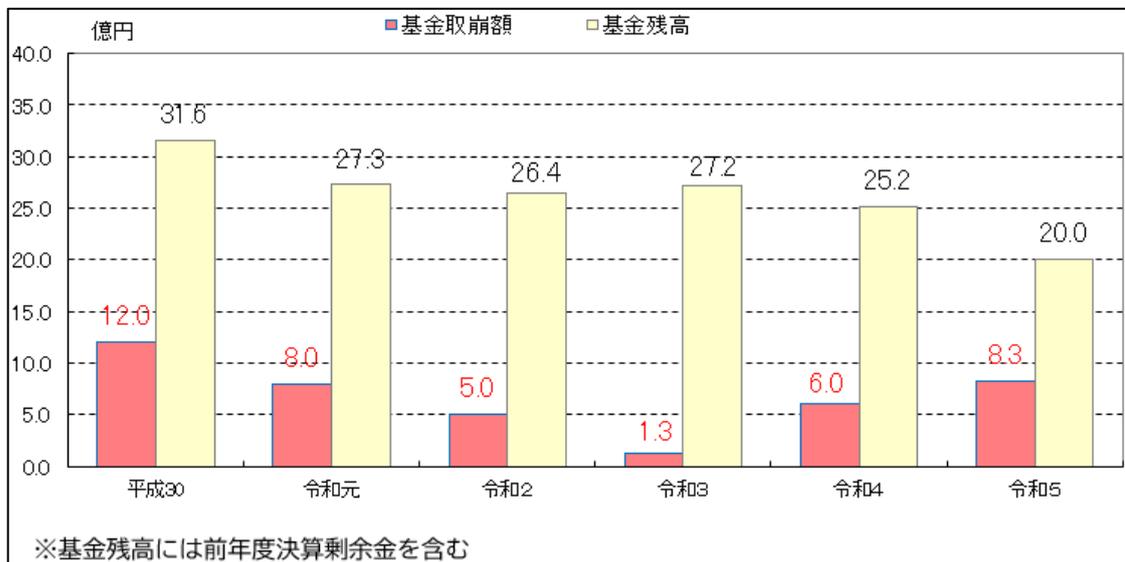
寄附金は、ふるさと納税をはじめとした自主財源確保の取組みにより、増加傾向にあります。

使用料は、今後見込まれる維持管理コストの増加などを踏まえ、適宜適正化を図っていく必要があります。



## (3) 財政調整基金の推移

平成30年度以降は、頻発する災害への対応、あるいは重点事業への積極投資などにより、財政調整基金を取崩して歳入財源とする、いわゆる歳出超過の状況が常態化し、財政調整基金が減少傾向となっています。



(4) 今後の見通し

打開策を打つことなく、歳出超過分を今後も財調で補填し続けると仮定すれば、令和8年度にも財調は枯渇し、近年多発する災害あるいは景気変動といった突発的有事への対応も極めて困難となることから、まさに危機的な状況です。

<b>府中市財政推計（令和6年度版）</b>									
R6.10.31時点 (単位：百万円)									
<b>■ 歳入</b> (R6年度の額は前年度繰越額含む)									
	(決算)		(推計)						
区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
市税	5,015	5,148	4,877	5,011	4,987	4,932	4,914	4,895	
地方交付税	6,949	6,790	6,732	6,893	7,042	7,031	7,358	7,268	
国・県支出金	5,462	5,450	5,977	4,415	4,185	4,482	4,416	4,375	
地方債	1,410	2,140	6,225	2,687	1,531	1,541	1,011	975	
その他	3,906	4,301	4,889	4,431	4,469	4,404	4,580	4,356	
うち財政調整基金取崩	600	830	803	1,234	1,152	1,267	1,244	1,220	
<b>歳入総額</b>	<b>22,743</b>	<b>23,828</b>	<b>28,699</b>	<b>23,437</b>	<b>22,213</b>	<b>22,389</b>	<b>22,280</b>	<b>21,870</b>	
<b>■ 歳出</b> (R6年度の額は前年度繰越額含む)									
	(決算)		(推計)						
区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
義務的経費	人件費	3,394	3,417	3,917	3,895	4,016	3,903	4,062	3,886
	扶助費	4,180	4,419	4,765	4,077	4,118	4,159	4,200	4,242
	公債費	2,588	2,339	2,386	2,457	2,529	2,658	2,974	2,755
	うち臨時財政対策債	814	776	748	729	702	689	648	601
投資的経費	2,504	3,381	7,227	2,372	1,230	1,329	1,484	1,406	
その他の経費	9,163	9,531	10,404	10,636	10,320	10,340	9,560	9,580	
うち物件費	3,399	3,159	4,126	3,687	3,706	3,724	3,743	3,762	
うち補助費等	3,102	3,171	3,547	3,640	3,730	3,323	3,312	3,312	
<b>歳出総額</b>	<b>21,828</b>	<b>23,088</b>	<b>28,699</b>	<b>23,437</b>	<b>22,213</b>	<b>22,389</b>	<b>22,280</b>	<b>21,870</b>	
形式収支	914	740	0	0	0	0	0	0	
翌年度繰越財源	313	231	R6以降の翌年度繰越財源は加味せず(予想不能)						
実質収支	601	509	R6以降の翌年度繰越財源は加味せず(予想不能)						
収支差額(財調取崩除く)	314	-90	-803	-1,235	-1,152	-1,267	-1,244	-1,220	
<b>【財政調整基金の推移】</b>									
	(実績)		(見込)						
前年度末残高①	2,721	2,522	2,003	1,461	427	-525	-1,593	-2,636	
前年度剰余金②	400	310	260	200	200	200	200	200	
当該年度取崩額③	600	830	803	1,235	1,152	1,267	1,244	1,220	
運用利子ほか④	1	2	1	0	0	0	0	0	
当該年度末残高(※)	2,522	2,003	1,461	427	-525	-1,593	-2,636	-3,656	
(※) ①+②-③+④									

※今後5年間(令和7年度～令和11年度)に見込まれる累積収支不足額は約61億円(上記収支差額(財調取崩除く)の期間合計)

## 2 持続可能な財政運営プランの基本方針と目標

### (1) 基本方針

歳入歳出両面からの事業見直しによる早急な収支均衡化を基本としつつ、見直しによる行政組織のスリム化、職員数の抑制と適正配置といった行政改革とともに進めながら、社会情勢に応じた行政需要にも的確に対応していきます。

また、現在はもちろんのこと、「将来を見据える」という視点も取り入れ、下記(3)に定める目標を達成するまでの間、次に掲げる「3つの基本方針」に基づき取り組みを行っていきます。

#### 基本方針1 スクラップ・アンド・ビルドの徹底

財源に限りがある中、社会情勢の変化に応じた事業見直しなどを進めるため、施策や事業をゼロベースで見直し、優先度を見極め、そのうえで必要となる財源は既存事業の見直しによって確保します。

#### 基本方針2 歳入の確保

市税などの債権回収、市有財産の売却、使用料や手数料など受益者負担の適正化はもとより、事業を実施するうえではクラウドファンディング、企業版ふるさと納税、あるいはネーミングライツといった自主財源の確保に引き続き取り組んでいきます。

#### 基本方針3 将来負担マネジメント

投資的事業について、その必要性や効果、将来的な公債費やランニングコストなどを十分に精査した上で実施を判断していきます。

また、固定費ともいえる公共施設の維持管理コストが老朽化によりさらに増加していくことが予測されるため、総量縮減・適正配置・長寿命化を複合的に進めたいうえで、更新費用を削減・平準化していきます。

### (2) 計画期間

令和7年度から令和11年度までの5年間

### (3) 目標

#### ①収支の黒字化

常態化した歳出超過を直ちに解消し、財政調整基金に頼らない、収支が均衡した持続可能な財政構造への転換を図ることにより、財政収支を計画期間中に黒字化(※)すること。

(※) 基金を取崩さずに歳入歳出差引をプラス収支とすること

#### ②計画最終年度(令和11年度)末に24億円の基金残高を確保

府中市の将来にわたる財政の健全な運営に資するため、計画最終年度(令和11年度)末に24億円の基金残高を確保し、以後も計画的に基金積立てを行っていくこと。

### 3 持続可能な財政構造の転換に向けた対策

今後5年間（令和7年度～令和11年度）に見込まれる累積収支不足額約61億円の解消を図り、目標を達成するため、令和6年度当初予算を基準とした次の取組みを実施していきます。

#### (1) 歳出の削減

取組項目	実施内容	令和7年度 効果見込額	令和7～11年度 累積効果 見込額(※)
①人件費の見直し	特別職報酬や管理職の給料削減、組織のスリム化（課の統合による管理監督職の削減）、職員数の適正化（今後10年間で30人削減）などの行政改革に取り組みます。	1.4億円	8.9億円
②既存主要事業の見直し（総量圧縮）	事業目的が市民ニーズや社会情勢に適合していないと判断される事業は積極的に見直しを行います。	3.9億円	18.8億円
③内部経費の圧縮	法的義務がないもので効率化により人的・オフィスコスト削減が図れるソフト事業（市に裁量のある事業）は積極的に見直しを行います。	5.6億円	26.4億円
④将来負担リスクマネジメント	公債費やランニングコストなどの将来負担への長期的なリスクマネジメントを図ります。	0.8億円	1.3億円
合計		11.7億円	55.4億円

#### (2) 歳入の確保

取組項目	実施内容	令和7年度 効果見込額	令和7～11年度 累積効果 見込額(※)
①徴収率・収納率の向上	税外債権を含めた全ての債権について法律に基づき厳正に対処していきます。	0.02億円	0.1億円
②受益者負担の適正化	公共施設の使用料をはじめとして、維持管理コストや他自治体の状況を踏まえ、負担の公平性と公正性を確保するための見直しを実施します。	0.2億円	1.1億円

③自主財源の確保	「財源がなければ事業が実施できない」ことを十分に認識し、クラウドファンディング、企業版ふるさと納税、あるいはネーミングライツなど自ら積極的に財源を確保していきます。	0.02 億円	3.1 億円
④市有財産の売却	公共施設総合管理計画に基づく公共施設総量削減を推進する観点からも、市有財産の売却を積極的に行っていきます。	0.3 億円	0.8 億円
合計		0.54 億円	5.1 億円

### (3) 総括

ア 歳出の削減	55.4 億円
①人件費の見直し	8.9 億円
②既存主要事業の見直し（総量圧縮）	18.8 億円
③内部経費の圧縮	26.4 億円
④将来負担リスクマネジメント	1.3 億円
イ 歳入の確保	5.1 億円
①徴収率・収納率の向上	0.1 億円
②受益者負担の適正化	1.1 億円
③自主財源の確保	3.1 億円
④市有財産の売却	0.8 億円
ウ 5年間の取組み額の合計	60.5 億円

※年度ごとの取組み効果額

○事業見直し前			計画期間	計画期間	計画期間	計画期間	計画期間	R6.11.5時点 (単位：百万円)
区分	決算 令和5年度 (決算)	見込 12月補正案まで 令和6年度 (見込)	推計 令和7年度	推計 令和8年度	推計 令和9年度	推計 令和10年度	推計 令和11年度	
収支不足額 【対策前】 A	-	▲ 1,040	▲ 1,235	▲ 1,152	▲ 1,267	▲ 1,244	▲ 1,220	
※基金積立分の見込 【対策前】	-	261	200	200	200	200	200	
財政調整基金残高 【対策前】	2,003	1,224	426	▲ 526	▲ 1,593	▲ 2,637	▲ 3,657	
○事業見直しにより目標効果額を達成した場合								
区分	令和5年度 (決算)	令和6年度 (見込)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和7-11年度 合計
歳出削減	①人件費の見直し	-	▲ 142	▲ 162	▲ 182	▲ 190	▲ 210	▲ 886
	②既存主要事業の見直し (総量圧縮)	-	▲ 394	▲ 397	▲ 397	▲ 347	▲ 347	▲ 1,882
	③内部経費の圧縮	-	▲ 237	▲ 561	▲ 545	▲ 545	▲ 495	▲ 2,641
	④将来負担リスクマネジメント	-	-	▲ 84	▲ 10	▲ 7	▲ 22	▲ 135
計 (B)	0	▲ 237	▲ 1,181	▲ 1,114	▲ 1,131	▲ 1,054	▲ 1,065	▲ 5,544
歳入確保	①徴収率・収納率の向上	-	2	2	2	2	2	10
	②受益者負担の適正化	-	23	23	23	23	23	115
	③自主財源の確保	-	2	52	52	102	102	310
	④市有財産の売却	-	-	27	30	6	6	75
計 (C)	0	0	54	107	83	133	133	510
目標効果額 D = -B + C	0	237	1,235	1,221	1,214	1,187	1,198	6,054
○事業見直し後								
区分	令和5年度 (決算)	令和6年度 (見込)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
収支不足額 【対策後】 A+D	-	▲ 803	0	69	▲ 53	▲ 57	▲ 22	
※基金積立分の見込 【対策後】	-	261	200	200	200	200	200	
財政調整基金残高 【対策後】	2,003	1,461	1,661	1,930	2,077	2,220	2,397	

## 4 本プランの進め方

### (1) 基本的な姿勢

令和7年度以降の5年間で最適化した予算規模を令和12年度以降も維持し、持続可能な財政運営を継続していくことを前提としており、例えば休止した事業を再開するにあたっては、この前提を崩すことなく最適な判断をその都度行っていきます。

### (2) 継続的な事業見直し

本プランにおける今後5年間の取組み額については、毎年度の予算編成における指標となるものですが、予測が困難な今後の社会情勢変化など、その過程においては新たな変動要素が出てくるものと考えており、依然として予断を許さない厳しい財政状況であることに変わりはありません。

そのため、徹底したスクラップ&ビルドによる継続的な事業見直しを行い、本プランについても適宜見直しを行いながら、本市の持続的なまちの発展に向けた取組みを行っていきます。

### (3) 市民・市議会との共有

市民、市議会、行政が互いに情報を共有し、十分な合意形成を図ったうえで取組みを進めていきます。

#### ① 市民や関係団体

広く市民や関係団体の意見を聴きながら取組みを進めるため、広報紙やホームページにより分かりやすい形で十分に情報共有を行っていきます。

#### ② 財政改革対策特別委員会

市と市議会とが協力して府中市の持続可能な財政運営を推進するため、市議会各党派から構成する財政改革対策特別委員会において、継続的に協議しながら取組みを進めていきます。

### (4) プランのフォローアップ

市総務部財政課において、市役所内部での検討、市民、市議会との情報共有を主導し、プランを着実に実行していきます。

また、毎年度、プランの内容や実施状況を評価・検証し、翌年度以降の取組みに反映するとともに、必要に応じて適宜見直しを行っていきます。